

ゴシュユ

【 *Tetradium ruticarpum* 】

科名 ミカン科

属名 ゴシュユ属

薬効・用途

果実（呉茱萸 ゴシュユ）は健胃利尿薬として水毒による胃痛、頭痛、嘔吐などに用い、又殺虫、浴湯料とする。採取直後のものを用いると、希に嘔吐などの副作用を発現することもあるので、1年以上経過した古い生薬が良品といわれている。呉茱萸湯、温経湯、当帰四逆加呉茱萸生姜湯などの漢方方剤に配合される。



・花期：8月頃

備考

落葉小高木。中国中南部原産。日本には雌株しかないが、根から新芽（不定芽）を出してよく殖える。果実には特有の匂いがあり、味はとても辛く、その後苦味を感じる。和名は、漢名の音読みで、呉の国の茱萸（しゅゆ＝ぐみ）という意味。雌雄異株。